

広陵町まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート

令和元年 8 月
広 陵 町

もくじ

広陵町人口ビジョンについて	P. 1
広陵町まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について	P. 2
広陵町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート	P. 3～33
<基本目標 1> 住み続けたくなるまちづくり	P. 3
重要業績評価指標（K P I）の進捗状況	P. 4～6
主要な具体的事業の成果	P. 6～10
<基本目標 2> 結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちづくり	P. 11
重要業績評価指標（K P I）の進捗状況	P. 12～15
主要な具体的事業の成果	P. 15～18
<基本目標 3> 活力あふれるまちづくり	P. 19
重要業績評価指標（K P I）の進捗状況	P. 20～23
主要な具体的事業の成果	P. 24～29
<基本目標 4> 地域と地域を連携するまちづくり	P. 30
重要業績評価指標（K P I）の進捗状況	P. 31
主要な具体的事業の成果	P. 31～33

広陵町人口ビジョンについて

【策定の背景】

- 東京など首都圏への人口一極集中が進み、日本の総人口は平成 20（2008）年に人口減少がはじまり、今後も加速度的に進むとされています。
- 「日本の将来推計人口」（国立社会保障・人口問題研究所）によれば、現在の傾向が続けば、今後、年少人口及び生産年齢人口は大幅に減少し、65 歳以上の高齢者人口は増加が見込まれます。平成 72（2060）年には年少人口割合が 1 割弱、生産年齢人口が 5 割、老年人口割合が約 4 割となる見込みです。
- 本町においても少子高齢化や人口減少により、様々な課題に直面しているため、「まち・ひと・しごとの創生」によって、社会・経済の活力維持に取り組む必要があります。

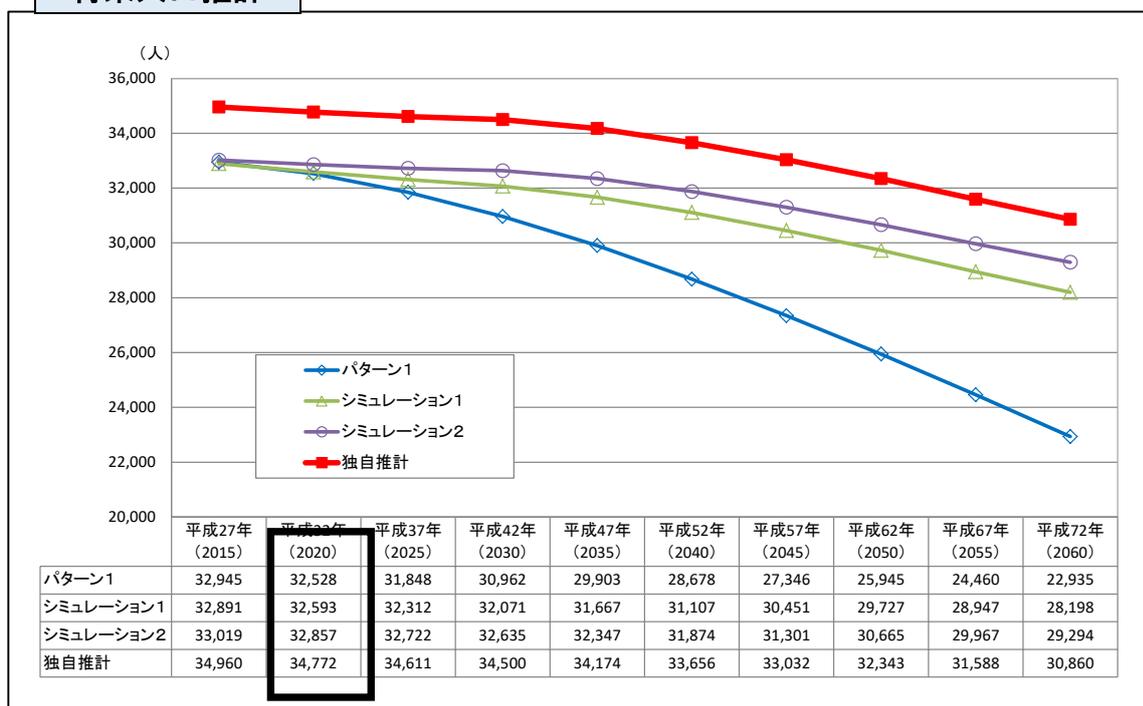
【将来人口の目標】

- 国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計によると、本町の人口は今後減少局面に入り、平成 72（2060）年に 22,935 人になると予測されています。
- 本町において、将来の人口目標を住民基本台帳人口による独自推計により設定しており、今後、人口減少は着実に進むものと考えられますが、定住対策等、人口維持のための施策を軸とした施策の展開により、人口を維持することを目指します。

人口目標

平成 72（2060）年に「人口 3 万人」を維持

将来人口推計



広陵町まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について

1 効果検証の目的

広陵町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）は、PDCAメカニズムの下、具体的な数値目標を設定し、効果検証と改善を行いながら推進していくこととしています。

そのため、総合戦略等検証委員会を設置し、産官学金労言の各界からの視点で、客観的に各基本目標及び重要業績評価指標（KPI）の進捗について毎年度評価を実施し、今後の施策や事業の改善に活用していきます。

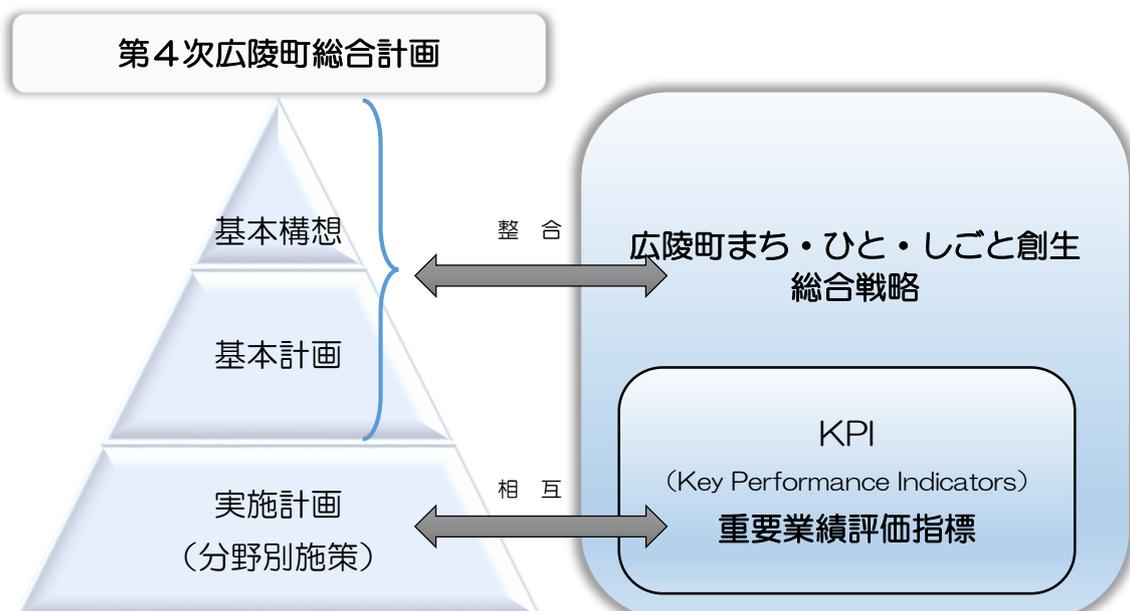
2 総合戦略の趣旨

総合戦略は広陵町人口ビジョンで示した将来展望を踏まえ、本町がまち・ひと・しごとの創生に取り組み、今後もまちの活力を維持し続けるため、平成27年度を初年度とする、今後5か年の基本目標や施策の基本的方向性、具体的な施策をまとめるものです。

3 総合戦略の位置付け

総合戦略の策定に当たっては、まちづくりを総合的かつ計画的に進めるための最上位計画である第4次広陵町総合計画（みんなの広陵元気プラン 平成24年度～平成33年度）と整合を図るため、第4次総合計画実施計画に掲載された事業の中から、まち・ひと・しごとの創生の趣旨に合致する事業を抽出するとともに、随時、新規事業を追加して総合戦略を策定しています。

そのため、総合戦略で設定されている重要業績評価指数（KPI）には、第4次総合計画実施計画の成果指標（ベンチマーク）を一部採用しており、その中に「町民の満足度」に関するKPIを多く設定していますが、これは総合戦略の最終年度にアンケート調査を実施することで、第4次総合計画実施計画 後期基本計画の中間年度での進捗状況を確認することも兼ねることを意図しているため、毎年度での進捗状況の確認は実施しません。



＜基本目標1＞ 住み続けたくなるまちづくり

本町の強みである住みよしみどり豊かな美しい住環境を活かし、安全で安心して生活できるまちづくりを進めることが重要です。そのためには、町一体となって“みどりの環境”の保全に取り組むとともに、防災・防犯体制を整備して安全・安心な支え合いのまちづくりを進める必要があります。

また、地域特性を活かした魅力あるまちづくりを進め、広陵町に「住んでみたい」「住み続けたい」と望む人を一層増やしていくことが大切です。

数値目標：

これからも「住み続けたい」と思うひとの割合：現状値 74.7%(H27) 目標値 77%

基本的方向：

- みどりの環境と質の高い住環境が調和するまちとしての魅力の維持・向上
- 三世代同居・隣居・近居を推進し、三世代家族が絆を深め、笑顔で暮らせるための定住の促進

基本目標の達成に向けた今後の方向性

【重要業績評価指標（KPI）の進捗状況】

達成率

A：100%以上 B：75%程度

C：50%程度 D：25%程度 E：0%

(1) 住みよい美しい安全な環境づくり

① 環境保全の推進

KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
環境保全の状況に関する町民の満足度(%)	目標値		町民の満足度については、最終年度にアンケート調査を実施するので、年度ごとの評価は実施しない。			33.3
	実績値	30.2				
環境・安全安心課	達成率	-				

② 環境衛生の充実

KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
一人一日当たりのごみ拠出量(資源・リサイクルを除く)(グラム/日・人)	目標値		630			
	実績値	650	622	629	637	
	達成率	-	A	A	B	
	達成状況の分析	目標値を上回った要因は、福祉施設から出る紙オムツの受入を再開したことと台風21号による災害ごみを受け入れたことによるもので、住民のごみ分別・減量の意識は高まっている。				
	今後の取組	さらに住民の皆様にごみ分別・減量を進めていただくために、分かり易く広報・ホームページにて周知を図っていく。				
クリーンセンター						

③ 上・下水道の充実

KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
上水道の状況に関する町民の満足度(%)	目標値		町民の満足度については、最終年度にアンケート調査を実施するので、年度ごとの評価は実施しない。			60.0
	実績値	54.0				
上下水道業務課	達成率	-				
KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
公共下水道水洗化率(%)	目標値		93.0			
	実績値	90.8	91.7	92.7	92.9	
	達成率	-	A	A	A	
	達成状況の分析	平成30年度末の未水洗化戸数は865戸あり、世帯の高齢者や水洗化するために費用がかかる等の要因があるが、家庭訪問を重ねて継続推進を進めていく。				
	今後の取組	引き続き計画に基づき、未整備区域の整備を進め、未水洗化家庭について接続推進を図っていく。				
上下水道施設課						

④ 公園・緑地の保全

KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
花いっぱい運動参加大字・自治会団体の割合(%)	目標値		50.0			
	実績値	24.5	22.4	20.4	20.4	
	達成率	-	C	D	D	
	達成状況の分析	申請件数が増加していない要因として、農村部での多面的機能支払交付金を活用した景観保全活動が行われているためであると推測できる。				
	今後の取組	年度初めに行う区長・自治会長での周知だけでなく、状況に応じ広報紙・ホームページでの周知を行っていく。				
地域振興課						
KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
公園・緑地の整備状況に関する町民の満足度(%)	目標値		町民の満足度については、最終年度にアンケート調査を実施するので、年度ごとの評価は実施しない。			68.0
	実績値	63.0				
都市整備課	達成率	-				

⑤ 消防・防災の充実

KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
住家の復電火災防止対応率 (%)	目標値	50				
	実績値	0	0	0	20	
	達成率	-	E	E	C	
	達成状況の分析	大垣内区をモデル地区として、平成29年度に感震ブレイカーについて説明会及びアンケート調査を実施し、平成30年度には、30世帯に対し感震ブレイカーの設置補助を行った。				
	今後の取組	広報、HP、フェイスブック、防災訓練等で周知し、認知度、普及率を上げる。 消火活動の難しい狭い地区の普及率を上げる。				
環境・安全安心課						
KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
避難所備蓄倉庫整備率 (%)	目標値	100				
	実績値	0	0	0	0	
	達成率	-	E	E	E	
	達成状況の分析	平成29年度については避難所に指定する施設管理者(小中学校)に備蓄倉庫整備について協議済み。				
	今後の取組	令和元年度から3年度までに5箇所の指定避難所に防災倉庫を設置する。令和元年度は、町内2か所の学校に備蓄倉庫を設置予定である。				
環境・安全安心課						
KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
都市公園の防災機能整備率 (%)	目標値	80				
	実績値	0	0	0	0	
	達成率	-	E	E	E	
	達成状況の分析	西谷公園の整備をモデルケースとし、全体スケジュールとして、平成31年度までに整備率80%を目指す。平成30年度には実施設計を行うためのワークショップの開催を3回実施した。				
	今後の取組	ワークショップで得た案を基に、近隣住民のある程度の合意形成を図り、西谷公園の防災化の実施設計及び工事を実施していく見込み。				
都市整備課						
KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
AED設置貸与件数(件)	目標値	20				
	実績値	2	6	9	13	
	達成率	-	D	C	B	
	達成状況の分析	平成30年度時点で新たに5件設置し、目標値の70%程度設置できているが、まだ未設置の区・自治会があるため、今後も継続して設置していく。				
	今後の取組	町内の各区・自治会にある公民館及び集会所等へ設置していき、安心・安全な環境づくりを進める(地域の補助の拡充)。				
環境・安全安心課						

⑥ 防犯・交通安全の充実

KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
防犯体制に関する町民の満足度 (%)	目標値					35.0
	実績値	28.1	町民の満足度については、最終年度にアンケート調査を実施するので、年度ごとの評価は実施しない。			
	達成率	-				
環境・安全安心課						
KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
交通安全体制に関する町民の満足度 (%)	目標値					30.0
	実績値	26.5	町民の満足度については、最終年度にアンケート調査を実施するので、年度ごとの評価は実施しない。			
	達成率	-				
環境・安全安心課						
KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
防犯カメラ設置件数(件)	目標値	30				
	実績値	6	12	17	21	
	達成率	-	C	C	B	
	達成状況の分析	平成30年度で新たに3箇所に4台設置しており、今後も町内の公園等への設置件数を増やしていく。				
	今後の取組	町内で不特定多数の人が集まる場所や脅威事案のある場所を中心に防犯カメラ設置に取り組んでいく。				
環境・安全安心課						

(2) 本町への定住・転入の促進

① タウンプロモーションの推進

KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
町ホームページへのアクセス数(トップページ)(件)	目標値	380,000				
	実績値	330,906	323,966	366,485	456,910	
	達成率	-	B	B	A	
	達成状況の分析	アクセス数上昇の背景には、広報紙、Facebook等にQRコードやURLを掲載したことがあげられる。				
	今後の取組	依然としてアクセシビリティに課題があるため、今後も継続して住民が見やすくアクセスしやすいホームページを目指していく。				
秘書人事課						
KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
県外プロモーション活動件数(件)	目標値	4				
	実績値	2	4	3	3	
	達成率	-	A	B	B	
	達成状況の分析	例年参加している、コットンサミット(福島県)、みはまナビフェス(福井県)に加えて、平成30年度は、とうおんファミリーフェスティバル(愛媛県)に新たに参加してプロモーションを図った。				
	今後の取組	目標値は、未達成となったが、新たなプロモーション活動ができており、より一層のプロモーションに努めていく。				
地域振興課						

② 定住・転入施策の充実

KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
3世代ファミリー定住支援件数(件)	目標値	20				
	実績値	-	0	8	9	
	達成率	-	E	C	C	
	達成状況の分析	町ホームページや町公共施設及び町内商業施設等での案内ポスターの掲示など周知を行った結果、平成30年度は9件の実績があった。				
	今後の取組	令和元年度予算は10件分であるが、限られた予算のなかで、引き続き周知と募集を行っていく。				
企画政策課						
KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
マイホーム借り上げ制度相談件数(件)	目標値	20				
	実績値	-	3	6	0	
	達成率	-	D	C	E	
	達成状況の分析	年3回のマイホーム借り上げ説明会を実施し、説明会后に個別相談も受け付けたが、個別相談については参加者はいなかった。				
	今後の取組	令和元年度においても引き続き年3回のマイホーム借り上げ説明会と個別相談会を実施する。				
企画政策課						

【主要な具体的事業の成果】

(1) 住みよい美しい完全な環境づくり

① 環境保全の推進

主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
不法投棄監視カメラの導入	監視用カメラの設置により、不法投棄の抑止に努めた。 【実績】累計カメラ導入台数 13台	引き続き、監視カメラの設置を行うことにより、環境保全に努めていく。
環境・安全安心課		
クリーンキャンペーン	町内一斉清掃(クリーンキャンペーン)を年2回実施し、美しい住みよい町にするための活動を展開した。 【実績】平成30年度参加人数 平成30年9月2日 3,580人 平成31年3月3日 3,954人	引き続き、クリーンキャンペーンを行うことにより、美しい住みよい町づくりに努めていく。
環境・安全安心課		

② 環境衛生の充実

主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
家庭用生ごみ処理機等設置費補助金 クリーンセンター	生ごみの減量化を促進するとともに、ごみに対する町民意識の向上を図るため、家庭用生ごみ処理機器、家庭用生ごみ自家処理容器又は家庭用EM菌生ごみ処理容器を設置する者に対して、予算の範囲内において補助金を交付している。 【実績】平成30年度補助件数 処理容器3件、処理機器4件	クリーンセンターで処理する年間の生ごみの着実な減量を目指していくために、年間約10件ずつの購入・補助金申請のペースを維持するよう広報紙・町ホームページ等で周知していく。
再生資源集団回収助成金 クリーンセンター	再生利用が可能な古紙等の集団回収活動を自主的に行う団体に対し、助成金を交付することにより、その活動の活性化を図り、ごみの減量化と資源の有効利用に資することを目的とする。 【実績】平成30年度補助金額 1,152,714円(25団体)	集団回収を行っていただく団体数が減る流れになった場合、団体数を維持するための方策を検討・実施し、広陵町で回収すべきごみの量を抑えていく。
ごみ分別ガイドの改訂 クリーンセンター	。ごみの減量化を図り、ごみと資源を正しく分別することを目的として、平成28年度にごみ分別ガイドを更新した。 【実績】平成28年度印刷部数 15,000部 転入者に配布並びに本庁及びクリーンセンターに常備している。	引き続き、町民の皆様にごみの減量・分別を徹底していただけるように、広報紙やホームページで、ごみ分別・減量について、分かり易い内容で周知徹底を行っていく。

③ 上・下水道の充実

主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
下水道未整備区域の普及促進 上下水道施設課	生活環境の改善と広域的な公共水域の汚濁防止等を図り、公衆衛生の向上のため下水道事業を実施し、未整備区域の管渠整備を行っている。	引き続き計画に基づき、未整備区域の整備を進め、未水洗化家庭について接続促進を図っていく。
下水道長寿命化対策 上下水道施設課	真美ヶ丘地区において、40年以上経過している老朽化した下水道施設について、長寿命化計画を策定し、修繕緊急度の高い箇所の管更正及びマンホールの蓋取り替えを実施した。	平成28年度にストックマネジメントの基本計画を策定して、町全体の下水道施設を中長期的な観点から老朽化の進行状況を考慮し、優先順位付けを行ったうえで、施設の点検・調査、修理・改築を実施する。
重要給水施設配水管の整備 上下水道施設課	県水受水池の真美ヶ丘配水場を起点として、災害時に重要な拠点となる避難所18カ所へ飲用水を輸送するたの道路に、埋設されている水道管の耐震化を国の補助事業として実施している。	平成28年度より5カ年計画で、実施している重要給水施設配水管の耐震化整備を引き続き進めていく。

④ 公園・緑地の保全

主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
公園等管理業務	主にシルバー人材センターと委託契約し、管理を行っているが、高度な技術が必要な場合は民間業者と個別に契約し管理を行っている。	管理コストの削減のため、管理内容等の検討を行っている。
都市整備課		
花いっぱい運動補助金	町内の各大字・自治会等に対し、草花や園芸資材購入に要する経費について予算の範囲内において補助金を交付し「花いっぱいの美しいまちづくり」を推進している。 【実績】平成30年度参加大字・自治会 10件	今後、区長・自治会長会総会での周知や広報紙・ホームページでの周知を継続して行っていく。
地域振興課		
都市公園長寿命化修繕事業	平成26年度に作成した長寿命化修繕計画に基づき、補助金を用いて修繕事業を実施中である。	補助金による事業のため、進捗は内示充当率に左右されるが、優先度の高い公園から順次対応していく。
都市整備課		

⑤ 消防・防災の充実

主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
感震ブレーカーの普及事業	大垣内区をモデル地区として、平成29年度に説明会及びアンケート調査を実施し、平成30年度には当該地区で、30世帯において補助を行った。	広報やイベント等で補助金制度をPRすることにより、認知度向上や設置促進を図る。
環境・安全安心課		
主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
避難所備蓄倉庫整備・備蓄事業	避難所に指定する施設管理者(学校等)に備蓄倉庫整備について協議済み。	令和元年度は、町内2か所の中学校に備蓄倉庫を設置予定である。
環境・安全安心課		
都市公園防災機能整備事業	基本設計を発注済である。	Park-PFIを検討中であり、都市公園の防災化を含む実施設計を発注する。
都市整備課		
AED設置貸与事業	公共の場所へAEDを設置貸与している。 【実績】平成30年度貸与件数 4件	今後も地域と連携し、公民館及び集会所等、誰もがいつでもAEDを使用できる公共の場所に設置することにより、安全・安心な環境づくりを進めていく。
環境・安全安心課		

⑥ 防犯・交通安全の充実

主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
交通安全施設整備事業	道路利用者が安全に通行するための設置する施設(道路標識、カーブミラー、ガードレール、道路照明等)について、各種団体や地域の意見を伺いながら警察へ要請したり、町での整備をした。	今後も各種団体、地域との協議のうえ、交通安全施設整備を進めていく。
環境・安全安心課		
防犯対策(青色パトロール)事業	主に通学路を青色の回転灯を装備した車で巡回パトロールを行っている。	引き続きパトロール活動を行い、今後も安心、安全なまちづくりを目指していく。
環境・安全安心課		
防犯カメラ設置事業	犯罪の発生しやすい場所へ防犯カメラを設置している。 【実績】平成30年度末 設置件数 21件	令和元年度では、新たに3か所において設置予定であり、今後も不特定多数の人が集まる箇所や脅威事案のある箇所に設置することにより犯罪抑止効果を高めていく。
環境・安全安心課		

(2) 本町への定住・転入の促進

① タウンプロモーションの推進

主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
タウンプロモーション事業	県外において、本町の様々な魅力を発信している。 【実績】平成30年度実施件数3件 ・2018全国コットンサミット(福島県) ・みはまナビフェス2018(福井県) ・とうおんファミリーフェスティバル(愛媛県)	平成30年度に近畿運輸局「近畿観光まちづくりコンサルティング事業」において提案のあった「広陵町観光まちづくりへの提案」に基づき、より一層のプロモーションに努めていく。
地域振興課		
広報事業	広報紙や町ホームページ等で行政情報を分かりやすく丁寧に伝えるとともに、住民が知りたい情報を発信できるよう努める。また、地域で活動している住民を紙面で紹介することで、町の活力向上につなげる特集を組んでいる。 【実績】平成30年度町広報紙平均ページ数25.6ページ	外部媒体、フェイスブック等のSNSの活用等あらゆるメディアを通じて情報発信を行い、町の魅力を発信に努めていく。
秘書人事課		
ホームページ管理事業	アクセス数上昇の背景には、広報紙、Facebook等にQRコードやURLを掲載したことがあげられる。毎年アクセス数が増加するようホームページ内のコンテンツを増やすとともにアクセシビリティの向上に努める。 【実績】平成30年度トップページアクセス数 456,910件	依然としてアクセシビリティに課題があるため今後も継続して、住民が見やすくアクセスしやすいホームページを目指していく。
秘書人事課		

② 定住・転入施策の充実

主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
3世代ファミリー定住支援事業	町内において3世代で同居、近居のために転入する子育て世帯に対して補助金を交付する事業。平成30年度の予算は5件分であったが、9月時点で5件分がなくなったため、枠を増加した。 【実績】平成30年度 9件	限られた予算のなかで、引き続き周知と募集を行っていく。
企画政策課		
空き家利活用事業	住みかえの支援や空き家対策を目的に、(一社)移住・住みかえ支援機構が住宅を借上げて転貸する「マイホーム借上げ制度」の説明会を実施している。平成30年度は年3回のマイホーム借上げ相談会で11人の参加があったが、個別相談の申し出はなかった。	令和元年度においても引き続き年3回のマイホーム借上げ説明会と個別相談会を実施する。
企画政策課		

<基本目標2> 結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちづくり

結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援、子育てと仕事の両立支援や教育ブランド力の向上等に取り組み、広陵町における出生数の増加を目指すことで、長期的に生産年齢人口の減少と将来的な年少人口の減少を克服する必要があります。

数値目標：

出生数の増加 : 現状値268人 目標値5年間で1,400人

合計特殊出生率 : 現状値1.34 目標値1.50

基本的方向：

- 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を行うため、関係機関・関連部署間の連携の強化
- 子どもを生子・育てる希望を実現させるための地域ブランド力の向上
- 未来を託す“人財”の育成を図り、子育て施策と一体となった「教育環境のまち」としての確固たる教育ブランド力の確立

基本目標の達成に向けた今後の方向性

【重要業績評価指標（KPI）の進捗状況】

達成率

A：100%以上 B：75%程度

C：50%程度 D：25%程度 E：0%

(1)いきいき健康・福祉のまちづくり

① スマートウエルネスシティの推進

KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
保健サービス提供体制に関する町民の満足度(%)	目標値		町民の満足度については、最終年度にアンケート調査を実施するので、年度ごとの評価は実施しない。			
	実績値	41.7				43.0
	けんこう推進課	達成率	-			
KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
医療体制に関する町民の満足度(%)	目標値		町民の満足度については、最終年度にアンケート調査を実施するので、年度ごとの評価は実施しない。			
	実績値	23.5				25.0
	けんこう推進課	達成率	-			
KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
妊婦教室(パパママクラス)参加者数(組)	目標値		60			
	実績値	49	42	41	27	
	達成率	-	B	B	C	
	達成状況の分析	妊娠届出時に案内、申込のない初妊婦に対して電話勧奨を実施している。教室の運営については参加者アンケートを分析し改善につなげている。				
今後の取組	妊娠期から子育て期における総合的相談や支援をワンストップで実施し、全ての妊婦の状況を継続的に把握することで、妊婦をとりまく環境の包括的支援を実施していくことで達成度の分析を行う。					
けんこう推進課						
KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
地域巡回型健康教室「広陵元気塾」延参加者数(人)	目標値		1,500			
	実績値	360	1,239	1,405	1,826	
	達成率	-	B	B	A	
	達成状況の分析	昨年度から各小学校区(5か所)、年間55回の開催を実施しており、参加者からの口コミで参加者が増加している傾向にある。				
今後の取組	地域の集会所や公民館などの利用を促進し、地域間格差による健康意識の課題を分析したり、無関心層へのアプローチを強化するとともに、地域で健康づくりに取り組む支援を実施していく。					
けんこう推進課						

② 子育て支援の充実

KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
一時預かり事業年間延べ利用者数(人)	目標値		9,600			
	実績値	470	11,100	18,125	13,657	
	達成率	-	A	A	A	
	達成状況の分析	町内の幼稚園の利用だけでなく、町外私立幼稚園の利用により目標値の達成につながった。				
今後の取組	令和元年10月からの無償化により利用者が増加が見込まれるため、今後はスタッフの確保等受け皿の充実が課題である。					
こども課						
KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
保育所入所待機者数(人)	目標値		0			
	実績値	0	0	0	0	
	達成率	-	A	A	A	
	達成状況の分析	年度当初は利用調整の結果、待機児童0人を達成した。しかしながら、広域入所等も含めてのものであり、今後予断を許さない状況である。				
今後の取組	認定こども園の整備により受け皿確保を目指す。					
こども課						

② 子育て支援の充実

KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
地域子育て支援拠点事業実施か所数(か所)	目標値		5			
	実績値	2	3	3	3	
	達成率	-	C	C	C	
	達成状況の分析	実施か所数は変わらないが、平成30年度より、はしお元気村から北かぐやこども園に実施場所を移し、実施日数を週3回から週5回に拡充して利便性を高めた。				
	今後の取組	令和元年7月から、さわやかホールのなかよし広場の一角にプチなかよし広場をオープンさせる。母子保健コーディネーター・保育コンシェルジュを在席させ、育児に対する支援を行う。				
こども課						
KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
放課後児童育成クラブ登録者数(人)	目標値		490			
	実績値	311	370	485	514	
	達成率	-	B	B	A	
	達成状況の分析	保護者の就業率(共働き世帯率)が上昇していることから、登録者数も増加している。				
	今後の取組	平成30年度以降待機児童が発生しているため、入会希望者を受け入れるための受け皿及びスタッフの整備に努める。				
こども課						
KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
利用者支援事業実施か所数(か所)	目標値		1			
	実績値	0	0	1	2	
	達成率	-	E	A	A	
	達成状況の分析	平成29年度から保健センターにて母子保健型、平成30年度から基本型を開設し、子育て世代包括支援センターを実施している。				
	今後の取組	相談窓口として個人情報には細心の注意を払うと共に今後も子育て世代に寄り添い関係機関との連携を深めていく。また、研修会等に参加し、スキルアップに努める。				
こども課						
KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
子育て支援体制に関する町民の満足度(%)	目標値					30.0
	実績値	24.6	町民の満足度については、最終年度にアンケート調査を実施するので、年度ごとの評価は実施しない。			
	達成率	-				
こども課						

(2)文化の薫り高いまちづくり

① 学校教育の充実

KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
学校支援ボランティア登録者数(人)	目標値		130			
	実績値	118	132	149	180	
	達成率	-	A	A	A	
	達成状況の分析	各小学校のコーディネーターによるボランティア募集の努力により増員となった。				
	今後の取組	今後も広報紙等でボランティア募集を行い増員を図るとともに、多くの地域住民に学校教育活動に参画していただき、教職員と連携・協働することを通じて子どもたちの課題解決を図る。				
教育総務課						
KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
学校教育環境に関する町民の満足度(%)	目標値					50.0
	実績値	42.6	町民の満足度については、最終年度にアンケート調査を実施するので、年度ごとの評価は実施しない。			
	達成率	-				
教育総務課						

① 学校教育の充実

KPI設定項目(単位)		項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
小・中学校の洋式トイレの整備率(%)	目標値	50.0					
	実績値	34.0	40.6	40.6	40.6		
	達成率	-	B	B	B		
	達成状況の分析	トイレ環境の乾式化、洋式化、洗浄機能付きといった全面的な改善に向けて事業計画を変更したため、平成29年度は未実施となった。					
	今後の取組	(平成30年度) ・西小・北小 設計業務 (平成31年度) ・西小・北小 第一期工事 (令和2年度) ・西小・北小 第二期工事 ・真美二小・真美中 設計業務 (令和3年度) ・真美二小・真美中 第一期工事					
教育総務課							
KPI設定項目(単位)		項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
体力・運動能力の向上(ソフトボール・ハンドボール投げ)(m)	男子	目標値	22.04				
		実績値	21.06	22.61	22.29	22.14	
		達成率	-	A	A	A	
	女子	目標値	13.40				
		実績値	12.40	13.81	14.04	13.03	
		達成率	-	A	A	B	
	達成状況の分析	体力テストの結果を基に授業改善を行うとともに、町の児童生徒の投力に焦点をあて、投力に特化した運動を取り入れた。また、遊び時間には、ドッチボールなどの投力を必要とする球技を行った。県教委の指導主事を招待し、授業改善にも取り組んだ。					
今後の取組	上記の改善により、男子は設定した目標をクリアしたが、女子は少し下回ってしまった。他の体力テスト項目で全国・県平均に劣っている項目もあるため、全ての項目で目標値を設定し、その目標値をクリアするための取り組みを各小学校に推進する。						
教育総務課							

② 生涯学習の推進

KPI設定項目(単位)		項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
中央公民館利用者数(延べ人数)	目標値	35,000					
	実績値	35,783	36,087	36,026	38,164		
	達成率	-	A	A	A		
	達成状況の分析	公民館の主催事業である講座教室の充実を図ると共に、子どもを対象とした教室などを増加した。また、当施設は行政や町民、育成クラブ、各種団体による様々な活動に利用されている。					
生涯学習スポーツ課	今後の取組	引き続き多種、高度化する町民のニーズに合った事業を企画するとともに、関係各課と連携した効果的な運営を実施していく。					
KPI設定項目(単位)		項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
図書館の貸出冊数(冊)	目標値	550,000					
	実績値	486,291	477,363	475,275	467,682		
	達成率	-	B	B	B		
	達成状況の分析	貸出冊数は横ばい状態である。ただし、入館者数は増加している。(入館者数実績 平成28年度226,971人→平成29年度244,406人→平成30年度251,485人)貸出手続きをして図書を館外へ持ち出すことにより反映されるのが貸出冊数であるが、近年は館内で閲覧や調べ物をする長時間滞在タイプの利用方法が増えているためであると推察される。					
図書館	今後の取組	引き続き安定した貸出冊数を継続できるように、利用者ニーズの把握に努め、利用が多く傷んだ児童書の入替や、おすすめ本の展示等、常に新鮮な図書を提供する。					

③ 文化芸術の振興と文化財の保存・活用

KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
文化展覧会参加者数(人)	目標値		2,200			
	実績値	2,027	1,978	2,001	1,821	
	達成率	-	B	B	B	
	達成状況の分析	H30年度は、3日間の内1日が平日であったこともあり、前年度(3日間)の目標値を達成することはできなかった。(休日の2日間は平均735名、平日の1日は351名)				
	今後の取組	本年度は、休日での3日間開催であるため、前年度実績及び目標値を上回ることができるよう周知を徹底し、増員に努める。				
生涯学習スポーツ課						
KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
歴史的遺産の保存・活用の状況に関する町民の満足度(%)	目標値		町民の満足度については、最終年度にアンケート調査を実施するので、年度ごとの			48.0
	実績値	46.3	評価は実施しない。			
文化財保存課	達成率	-				

【主要な具体的事業の成果】

(1) いきいき健康・福祉のまちづくり

① スマートウエルネスシティの推進

主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
母子保健事業 けんこう推進課	保健指導・健康診査などにより母性並びに乳児および幼児の健康の保持及び増進を図る。 【実績】平成30年度 1,438件	子育て支援担当や関係機関と連携し、支援を必要としている人へ切れ目のない支援体制を構築する。
妊婦健康診査事業 けんこう推進課	妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図るため、必要な回数(14回)の妊婦健康診査が受診できるよう一部公費負担を実施した。 【実績】平成30年度 287人	医療機関との連携を図り、支援が必要な妊婦に対し、心身の健康保持に留意した支援につなげる。
こんにちは赤ちゃん事業 けんこう推進課	生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援の情報提供等、親子の心身の状況や養育環境等の把握や助言、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供につなげる。 【実績】平成30年度 247人	乳児のいる家庭と地域社会をつなぐ機会とし、地域の関係組織や団体などとの連携推進を図る。また、情報の共有化などにより、乳児家庭の孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成環境の確保を図る。
健康増進事業 けんこう推進課	人生100年社会の到来に備え、壮年期からの健康づくりと生活習慣病の予防、早期発見・治療を図るとともに、高齢者が介護を要する状態に陥ることを予防することなどを主眼とした保健事業を実施した。	広陵町健康増進計画に基づき、住民の健康施策の充実に向けて推進、評価する。
がん検診推進事業 けんこう推進課	がん検診の受診促進を図るとともにがんの早期発見と正しい健康意識の普及啓発を図る。 【実績】平成30年度 5,423人	国や県の事業を活用することで効率の良い受診率向上を目指すとともに、がん予防推進員との協働で、無関心層へのアプローチなど受診者の底上げにつなげていく。
地域巡回型健康教室「広陵元気塾」 けんこう推進課	毎月のテーマとともに各小学校区(5か所)を巡回した健康教室を実施している。運動と栄養など健康に役立つ取り組みの啓発、生活習慣改善などを促し、健康意識の向上につながるよう実施した。 【実績】平成30年度 1,826人(延べ参加者数)	地域の集会所や公民館などの利用を促進し、地域間格差による健康意識の課題を分析したり、無関心層へのアプローチを強化するとともに、地域で健康づくりに取り組む支援を実施していく。

① スマートウェルネスシティの推進

主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
若年者健康診査事業	20歳から39歳までの住民に対する生活習慣病予防のための健康診査。女性には希望で「乳房エコー検査」と「子宮頸がん検診」を同時実施しており、受診しやすい体制として休日実施や無料の託児も設営している。	健康診査を受診した方のうち、生活習慣改善の必要な方への支援体制を構築し、将来的に重篤な疾患に陥らないようにする。
けんこう推進課	【実績】平成30年度 336人	
歩くまちづくり・自転車を活用したまちづくりの推進	自転車利用の促進を図るべく、自転車通行帯の整備に着手した。 【実施路線】笠ハリサキ線（一部）	自転車通行空間の整備を継続して実施するとともに、「歩くまちづくり」のために安全で歩きやすい歩道の改修を実施していく。
都市整備課		
食育推進事業	食育推進に関する施策を、総合的かつ計画的に関係各課と推進した。	広陵町食育推進計画に基づき、住民の食育施策の充実に向けて推進、評価する。
けんこう推進課		
不妊治療の助成事業	不妊治療によって子どもを望む夫婦の経済的負担を軽減するため、医療保険が適用されない特定不妊治療に要する費用の一部を助成。（奈良県が実施）	一般不妊治療等による、経済的な負担の軽減を図る事業の検討を行っていく。
けんこう推進課		

② 子育て支援の充実

主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
子育て世帯移住・定住促進事業	三世代ファミリーで同居・近居する世帯への補助金を支給している。また、図書館内にカフェを設置し、ワンストップ窓口として移住・定住コンシェルジュを配置した。	移住・定住コンシェルジュを中心に、図書館前その他のいろいろな場所で移住定住や子育て世代に対するPRを行っていく。
企画政策課		
病児・病後児保育事業	病児については、土庫こども診療所病児保育園「ぞうさんのおうち」、病後児については、馬見労務保育園で実施している。 【実績】平成30年度 ・病児保育事業 260人 ・病後児保育事業 31人	病児保育事業に対しては、病院内施設であり、疾病中でも対応可能で、住民ニーズが高いものと思われる。病後児保育事業については、利用実績が伸びており、また平成31年4月1日から利用料を改正したため、利便性の向上を周知していく。
こども課		
延長保育事業	町内各保育園において、保護者等の就労実態等に応じて、保育認定を受けた時間を超えて利用できる事業。 【実績】平成30年度 町内全保育園で実施	今後とも継続実施予定である。対応のための保育士の確保が課題である。
こども課		
子育て短期支援事業	保護者の病気等で社会的事由により家庭での子どもの養育が一時的に困難になった時に、乳児院や児童養護施設で短時間子どもを預かる事業。町内に該当施設がないため、県内各所にある施設と契約を結んでいる。近年利用実績はない。 【実績】契約施設数 ・乳児院 2か所 ・児童養護施設 4か所	実績はないものの、常に受入可能の対策をとるため、施設との継続契約を予定している。
こども課		
子ども医療費助成事業	15歳到達年度末までの子どもを養育している者に対し、その医療費の一部を助成し、子どもの健康の保持及び福祉の増進を図ることを目的として実施している。 【実績】平成30年度給付額 104,404千円	福祉医療費については、償還払い方式による給付であるが、令和元年8月診療分から未就学児について、県下統一で一部負担金のみを支払いとなるため、利用者の窓口負担の軽減となる。
保険年金課		

② 子育て支援の充実

主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
保育コンシェルジュの設置	保護者に対し、子育てに関する様々な事柄について、情報収集や相談・助言等を行うと共に、関係機関との連携調整等を実施し支援を行う。 【実績】平成30年度 相談・助言回数46回	相談窓口として個人情報には細心の注意を払うと共に今後も子育て世代に寄り添い関係機関との連携を深めていく。また、研修会等に参加し、スキルアップに努めていく。
こども課		

(2)文化の薫り高いまちづくり

① 学校教育の充実

主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
中学校給食施設整備事業	広陵町・香芝市で共同調理場を建設し、各中学校に配膳室を整備した。平成28年9月から給食の提供を開始している。平成30年度は、160回給食を提供した。	安全・安心を第一に給食を提供し、さらなる食育を進めていく。
教育総務課		
ICT教育備品の整備	平成30年度に小学校1校、中学校1校にタブレット端末を実証的に導入した。また、中学校2校の全教職員に校務用パソコンの導入も実施した。	情報セキュリティに細心の注意を払いつつ、導入したタブレット端末及び校務用パソコンの検証を行い、生徒・児童・教職員が快適に使用できるICT環境の整備に努めていく。
教育総務課		
相談窓口の充実	町の学校生活アドバイザーを各学校に派遣し、支援が必要な子どもや家庭の把握を行った。	相談窓口の充実を図るため、引き続き学校生活アドバイザーを派遣し、支援が必要な子どもや家庭の把握に努めていく。
学校支援室		

② 生涯学習の推進

主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
地区公民館・集会所修繕補助事業	地域住民のコミュニティの場として、大字及び自治会が維持管理する集会所及び公民館の修繕費について補助金を交付している。 【実績】平成30年度補助金額 2,012,616円(12件) ※内5件 清掃施設周辺大字関連 314,042円	今後、施設の老朽化に伴い改修費用が増加することが考えられるため、地元との計画的な協議を行っていく必要がある。
生涯学習スポーツ課		
蔵書図書の購入事業	必要な最新の情報を収集し、新刊本を迅速に提供する等、新鮮度の高い図書を購入している。また、汚破損の度合いがひどく、利用度の高い基本図書について更新している。 【実績】平成30年度購入冊数8,133冊	リクエスト本の増加傾向に見て取れるように、利用者のニーズは千差万別である。それに対応できるよう、常にカウンター業務において利用者のニーズを把握するとともに、情報収集に努め、迅速な購入作業を心がける。
図書館		
中央公民館講座・教室主催事業	住民の学習意欲に対応したものや、各世代のニーズに即したのものとして44の講座及び教室を開催している。 【実績】平成30年度受講者数1,838人	今後も引き続き地域のニーズに合わせた魅力ある各種教室・講座を展開し、生涯学習の推進を図る。
中央公民館		

③ 文化芸術の振興と文化財の保存・活用

主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
町文化祭事業 生涯学習スポーツ課	住民の文化・芸術活動の振興を図るため、毎年11月3日文化の日の前後に開催【実績】平成30年度参加者数合計4,013人 ・文化展覧会芳名録記入者1,821人 ・公民館活動発表会出演者312人 ・伝統文化ワークショップ参加者547人 ・子供映画鑑賞会参加者369人 ・文化歴史講演会受講者151人	文化展覧会やイベントの参加者の高齢化・固定化などの課題に対応し、関係機関の連携を図りながら、より一層の文化・芸術活動の充実を目指していく。
歴史資料館の検討 文化財保存課	平成27年度に基本設計書が完成し、歴史資料館整備検討委員会から答申が出されたが、実施設計に至っていない。公共施設等総合管理計画と整合させながら進める。	巢山古墳出土遺物をデジタルカメラで撮影して3次元モデルを制作し、インターネットなどで公開する。デジタルミュージアム構想に取り組む予定。
特別史跡 巢山古墳史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業 文化財保存課	平成12年度から巢山古墳の現地発掘調査及び整備、出土品の保存を実施している。 【実績】平成30年度整備範囲準備工事・護岸工事等 (工事完了予定:令和4年)	護岸工事終了後は外堤園路を馬見丘陵公園路と接続し、ジョギングや散歩、イベント会場として活用を図る。

＜基本目標3＞ 活力あふれるまちづくり

まち・ひと・しごとの創生にあたっては、まず、「しごと」と「ひと」の好循環を確立することが重要です。潜在的な労働力の掘り起こしや働く希望と雇用の場をつなげ、広陵町の特色ある地域資源を活用して地域経済の好循環を生み出し、地域の活性化をめざす必要があります。

数値目標：

町内事業所従業者数：現状値8,725人（H24） 目標値9,000人

付加価値額：現状値247億円（H24） 目標値270億円

基本的方向：

- 特色ある地場産業と観光振興、地域資源の活用などによる雇用の創出と企業支援

基本目標の達成に向けた今後の方向性

【重要業績評価指標（KPI）の進捗状況】

達成率

A：100%以上 B：75%程度

C：50%程度 D：25%程度 E：0%

(1) 活力あふれる産業づくり

① 農業の振興

KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
認定農業者数(人)	目標値	20				
	実績値	10	15	19	22	
	達成率	-	B	B	A	
	達成状況の分析	認定取得希望者・地域の担い手農業者に対し、認定対象となる農業経営改善計画の作成を支援し、スムーズな認定取得につなげた。				
	今後の取組	今後、地域農業の担い手となっている農業者に申請を促していく。また、認定新規就農者に対しては、円滑に認定農業者へ移行できるよう周知・支援を行う。				
地域振興課						
KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
年間新規就農者数(農地取得者)(人)	目標値	8				
	実績値	4	3	5	2	
	達成率	-	C	C	D	
	達成状況の分析	農業塾修了生は既に農地を所有していたり、修了後すぐに営農しない方が多く、新規農地取得者が限られた。				
	今後の取組	農業塾修了生には、積極的に農地の斡旋を行うとともに、コワーキングスペースの紹介を行い担い手として育成を図る。平成30年度からの県事業である「特定農業振興ゾーン」を町内で設定し、計画に沿った新規就農者及びに農地取得希望者を優先的に斡旋できる素地づくりを行う。				
地域振興課						
KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
農業塾 塾生者数(人)	目標値	15				
	実績値	7	11	19	21	
	達成率	-	B	A	A	
	達成状況の分析	開講から数年経過していることで認知度が上がり、新規就農希望者や企業の中で農業を取り入れることを希望し入塾される方が多くなった。				
	今後の取組	入塾に関しては広報紙・ホームページでの周知を継続して行い、窓口対応で就農希望者には積極的に入塾を促す。特にイチゴ栽培希望者にはコワーキングスペースへの参入を促し、担い手の育成を図る。				
地域振興課						

② 商工業の振興

KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
事業所数(事業所)	商業	目標値	200				
		実績値	185	183	183	183	
		達成率	-	B	B	B	
	工業	目標値	250				
		実績値	247	244	235	216	
		達成率	-	B	B	B	
	達成状況の分析	商業は5年に1度の経済センサス調査の数値のため、把握が難しいが、工業に関しては毎年工業統計調査での数値であり、事業所数は減少となっている。					
	今後の取組	広陵町中小企業・小規模企業振興基本条例に基づく、課題別小委員会において町内事業者のさまざまな課題を事業者と町と関係機関が協力して町内産業の活性化について取り組んでいく。					
	地域振興課						

② 商工業の振興

KPI設定項目(単位)		項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
従業者数(人)	商業	目標値	1,500				
		実績値	1,460	1,442	1,442	1,442	
		達成率	-	B	B	B	
	工業	目標値	2,500				
		実績値	2,402	2,500	2,408	2,189	
		達成率	-	A	B	B	
	達成状況の分析	受注の増加等に伴い雇用の拡大はあるが、後継者不足等による事業所数の減少により、工業については微減となっている。					
	今後の取組	「広陵町の地域活性化をめざす中小企業等検討会」等を引き続き行い、広陵町中小企業・小規模事業振興基本条例の制定により町内産業の活性化について取り組んでいく。					
地域振興課							

③ 観光・交流の振興

KPI設定項目(単位)		項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
かぐや姫まつり来場者数(人)	目標値	40,000					
	実績値	30,000	11,960	-	13,000		
	達成率	-	D	-	D		
	達成状況の分析	前日の大雨の影響で初日の来場者数が前回より2,000人少なかった。2日目は天候がよく、前回から1,000人増となった。					
	今後の取組	今後は、各種物産展を幅広く展開し、従来とは違った取り組みをイベントに取り入れていくとともに、民間企業による企画を取り入れ、集客を図っていく。					
地域振興課							
KPI設定項目(単位)		項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
文化財ガイド案内件数(件)	目標値	47					
	実績値	17	34	28	22		
	達成率	-	B	B	B		
	達成状況の分析	平成30年度は22件485人の見学者を案内した。前年度比315人減少した。文化財ガイド案内を利用せず、個人での観光・見学者数が増加したため案内件数が減少しているためと考えられる。					
	今後の取組	今後、奈良県観光ボランティアガイド連絡会と連携した広陵町文化財ガイド主催の歴史ウォークを実施していく。					
文化財保存課							

④ 雇用対策の推進

KPI設定項目(単位)		項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
広報による就職情報提供回数(回)	目標値	6					
	実績値	3	10	8	9		
	達成率	-	A	A	A		
	達成状況の分析	町内および周辺自治体への雇用・就業促進を図るため、定期的に広報紙で情報発信を行う。					
	今後の取組	今後も必要に応じて、ハローワーク等から依頼される就職情報を掲載していく。					
秘書人事課							
KPI設定項目(単位)		項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
ハローワークを通じた年間雇業者数(人)	目標値	550					
	実績値	481	474	459	414		
	達成率	-	B	B	B		
	達成状況の分析	多くの雇業者が、ハローワークの斡旋によって雇用されていることについて、求職者がハローワークに対して高い意識をもって相談をされていることがうかがえる。					
	今後の取組	今後、広報への求人情報の掲載やハローワークと連携しながら、求人情報の斡旋を行っていく。					
地域振興課							

⑤ 創業の支援

KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
創業支援者数(件)	目標値		35			
	実績値	-	24	23	28	
	達成率	-	B	B	B	
	達成状況の分析	目標値には若干届かなかったが、支援した方々は、境遇は異なるも、新規創業への意識が高く、創業塾を通じて商工会に経営のノウハウなど必要な知識について相談している。				
	今後の取組	引き続き、町商工会と連携しながらホームページや広報等で、町商工会及び県よろず支援拠点が実施する創業塾について周知を図っていく。				
地域振興課						
KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
創業支援者数の内新規創業者数(件)	目標値		7			
	実績値	-	0	1	1	
	達成率	-	E	D	D	
	達成状況の分析	創業意識は高いが、新規創業希望者の年齢や、創業場所の確保等の課題があり、平成30年度創業に至ったケースは1件のみであった。				
	今後の取組	中小企業・小規模企業振興基本条例に基づく課題別小委員会において各機関、事業者等の意見をふまえて創業支援メニューの充実と、今年度から創業したい方に対してプレゼンをしてもらい、1番魅力的な発表をした方に補助金を交付し、創業の一助になる取組にしていく。				
地域振興課						

⑥ 企業誘致による地元雇用の確保

KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
企業立地奨励金制度対象企業数(件)	目標値		8/累計			
	実績値	1	3/累計	5/累計	6/累計	
	達成率	-	C	C	B	
	達成状況の分析	開発主導にて立地推進を行っており、県との連携をとおして、ワンストップ窓口にて対応することで徐々に結果に結びついている。				
	今後の取組	今後も引き続き、企業立地のためのPRを継続していく。				
企画政策課						

(2) さらなる発展への基盤づくり

① 計画的な土地利用の推進

KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
農業振興地域農用地面積(ha)	目標値		365			
	実績値	365	364.7	364.1	363.4	
	達成率	-	B	B	B	
	達成状況の分析	宅地や事業用の駐車場及び資材置場への農用地の転用が進んでいる。				
	今後の取組	農用地の転用が進む中で、農業経営の安定を図るために高収益作物の導入を促進する。				
地域振興課						

② 市街地の整備

KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
市街地の整備状況に関する町民の満足度(%)	目標値					20.0
	実績値	19.5				
都市整備課	達成率	-	町民の満足度については、最終年度にアンケート調査を実施するので、年度ごとの評価は実施しない。			

③ 住宅施策の推進

KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
民間住宅耐震改修支援件数(件)	目標値		10			
	実績値	3	8	5	1	
	達成率	-	B	C	D	
	達成状況の分析	県、国の補助金を用いているため、応募期間が短期間であり、過少な件数と考える。通年の応募であれば件数が増大すると思える。				
	今後の取組	今後も引き続き、耐震診断の受診を呼びかけるとともに、診断結果が基準値を下回った建築物に対して、積極的に耐震改修を促していく。				
都市整備課						
KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
住宅施策の整備状況に関する町民の満足度(%)	目標値		町民の満足度については、最終年度にアンケート調査を実施するので、年度ごとの評価は実施しない。			25.0
	実績値	21.8				
企画政策課	達成率	-				

④ 道路・交通網の充実

KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
広陵元気号利用者数(人)	目標値		27,000			
	実績値	24,670	37,954	44,261	51,893	
	達成率	-	A	A	A	
	達成状況の分析	広陵元気塾との連携、バスの乗り方教室やお買い物ポイント制度の実施、バス情報フォーマットサービスへの登録、交通シンポジウムの開催など、未利用者への利用促進を積極的に行ったことが、達成の要因となった。				
	今後の取組	今後も未利用者への利用促進、自家用車から公共交通への移動手段の転換を促す。また、既存利用者への利用環境を整える。				
企画政策課						
KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
道路の整備状況に関する町民の満足度(%)	目標値		町民の満足度については、最終年度にアンケート調査を実施するので、年度ごとの評価は実施しない。			40.0
	実績値	37.7				
都市整備課	達成率	-				
KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
路線バスの状況に関する町民の満足度(%)	目標値		町民の満足度については、最終年度にアンケート調査を実施するので、年度ごとの評価は実施しない。			20.0
	実績値	16.0				
企画政策課	達成率	-				
KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
地域公共交通の状況に関する町民の満足度(%)	目標値		町民の満足度については、最終年度にアンケート調査を実施するので、年度ごとの評価は実施しない。			20.0
	実績値	14.8				
企画政策課	達成率	-				

⑤ 情報化の推進

KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
町ホームページへのアクセス数(トップページ)(件) 【再掲】	目標値		380,000			
	実績値	330,906	323,966	366,485	456,910	
	達成率	-	B	B	A	
	達成状況の分析	毎年アクセス数が増加するようホームページ内のコンテンツを増やすとともにアクセシビリティの向上に努める。				
	今後の取組	依然としてアクセシビリティに課題があるため今後も継続して、住民が見やすくアクセスしやすいホームページを目指していく。				
秘書人事課						
KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
情報環境に関する町民の満足度(%)	目標値		町民の満足度については、最終年度にアンケート調査を実施するので、年度ごとの評価は実施しない。			20.0
	実績値	14.6				
秘書人事課	達成率	-				

【主要な具体的事業の成果】

(1) 活力あふれる産業づくり

① 農業の振興

主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
広陵町農業塾の開講	農業塾では栽培技術や農業経営について座学と圃場で実習を行っており、2年間の実習の後、3年目から本格的な就農準備の協力を行っている。 【実績】平成30年度塾生数21人	入塾に関しては広報紙・ホームページでの周知を継続して行き、窓口対応で就農希望者には積極的に入塾を促す。 特にイチゴ栽培希望者にはコワーキングスペースへの参入を促し、担い手の育成を図る。
地域振興課		
農産連携支援事業	地場産品振興対策の一環として、靴下の原料である綿花の栽培を促進するため、農地バンクに登録されている農地等を町内の靴下製造企業に紹介している。	引き続き靴下製造企業への農地の紹介を行うとともに、個人経営者への綿栽培の促進についても対策を行っていく。また、町内で栽培された綿花を利用した靴下のPR活動を行っていく。
地域振興課		
農産物マルシェ、アンテナショップの検討	町産農産物を販売する道の駅や地産地消レストランの誘致に向けた素地づくりを行っていく。また、地域のイベント等で直売所が出店し、地元農産物の販売をしている。	公共施設の空きスペースを活用し、イートインスペースを有する直売所設置を検討している。 また、域内流通の仕組みづくりも検討する。
地域振興課		

② 商工業の振興

主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
中小企業地域振興基本条例の検討	中小企業地域振興基本条例を制定するにあたり、近畿経済産業局、奈良県、商工会、奈良県中小企業家同友会、奈良女子大学、畿央大学、金融機関及び町内事業者を含め、5回にわたるワークショップを開催し、条例に盛り込む意見等を話し合った。条例策定後は計画策定のために、さらに課題、目標を検討するために意見を吸い上げた。	広陵町中小企業・小規模企業振興計画に基づき、課題別小委員会及び全体委員会を数回にわたって開催する。その中でキーマンとなり、町内企業を引っ張っていける事業者を発掘し、実際の計画に掲げた施策及び目標を達成するために、充実したワークショップを開催していく。
地域振興課		
住宅リフォーム補助金事業	町内の登録業者で施工する、20万円以上の通常のリフォーム工事に対して助成(最大10万円)を行っている。平成28年度以降は申請数が増加に転じている。 【実績】平成30年度補助金額 1,521,000円(17件)	今後も引き続き、ホームページや広報活動を積極的に行う必要がある。
地域振興課		
中小企業債務保証料補助金	本町に在住の個人若しくは事業所を有する法人で6か月以上同一の事業を継続して営み、特定の融資機関から資金を受ける中小企業者に対して補助を行っている。 【実績】平成30年度補助金額373,720円(2件)	中小企業基本条例に基づく、課題別小委員会の検討会などでも意見を伺い、金融機関とも交えて、今後の方向性について早急に検討する必要がある。
地域振興課		
地域ブランドの創出	作製した靴下のロゴマークを無料で配布し、地域ブランドの創出を図っている。また、パンフレットを制作し、記載のQRコードを読み取り、直接事業者から購入出来る仕組みを構築した。また、「広陵町中小企業・小規模企業振興計画」に新しい地域ブランドの創出を目標値として設定した。	農業面でなすやいちごの他、広陵町でとれた野菜の地域ブランド化も検討していく。また、広陵町中小企業・小規模企業振興基本条例にもとづく課題別小委員会において、企業間のマッチングを行い、新しい地域ブランドの創出を検討していく。
地域振興課		
地元企業支援事業	商工会を通じ、町内で事業を行う商工業者に対して補助金を交付している。	広陵町中小企業・小規模企業振興計画の中でも意見を伺い、町内で必要な地元起業支援施策を洗い出し、官民共同で実施していく。
地域振興課		

② 商工業の振興

主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
中小企業設備投資促進補助金	平成元年度から要綱の改訂を行い、取得金額150万円以上の町内の事業所に設置する、機械および装置または工具、器具および備品取得価額及び中古品についても一部の10%以内の額(最大100万円)を補助する。【実績】平成30年度補助金額220,000円(1件)	この事業を行うことで、地域産業の活性化を図るため、競争力の強化又は技術力の向上に積極的に取り組む町内の中小企業者を支援することができる。したがって、中小企業者の事業拡大及び地域振興政策に繋がられるので引き続き実施し、周知を行っていく。
地域振興課		

③ 観光・交流の振興

主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
かぐや姫まつり事業	地域住民にふれあいの場を提供するとともに、多くの人々が訪れる魅力ある祭りを官民協働で企画・開催している。【実績】平成30年度来場者数 13,000人	今後は、各種物産展を幅広く展開し、従来とは違った取り組みをイベントに取り入れていくとともに、民間企業による企画を取り入れ、集客を図っていく。
地域振興課		
広陵地域ブランドの創出(再掲)	作製した靴下のロゴマークを無料で配布し、地域ブランドの創出を図っている。また、パンフレットを制作し、記載のQRコードを読み取り、直接事業者から購入出来る仕組みを構築した。また、「広陵町中小企業・小規模企業振興計画」に新しい地域ブランドの創出を目標値として設定した。	農業面でなすやいちごの他、広陵町でとれた野菜の地域ブランド化も検討していく。また、広陵町中小企業・小規模企業振興基本条例にもとづく課題別小委員会において、企業間のマッチングを行い、新しい地域ブランドの創出を検討していく。
地域振興課		
PR看板設置事業	近鉄箸尾駅前にかぐやちゃん等身大フィギュアを設置し、フォトスポットとしてPRした。また、映画「天使のいる図書館」のロケ地看板を讃岐神社・図書館・百済寺に設置した。	かぐやちゃんフィギュアについては、設置箇所を今後検討し、観光客の拡大を図っていきたい。ロケ地看板については、出演者の人気が高まっていることもあり、観光客の増加が見込まれる。
地域振興課		
案内サイン整備事業	奈良盆地エリアにおいて、楽しく安全に歩けるおすすめの道をベースに市町村界を超えてつながるウォークルートを設置し、複数の市町村を長く広域に歩くことで、周辺の町並みや山々を味わい、古代から現代まで複数の時代を楽しむことができる。	奈良県の事業で、奈良県内を歩いて回れるように各市町村と繋がっているルートがあるが、鉄道や広陵元気号と絡めた歩きやすいルートを再編し、他市町村からの観光客を招き入れている。
地域振興課		
靴下の市&地域特産品交流フェア	商工会の広域化が進む中であって、それぞれの地域特産品の事業拡大、販路拡大を意図する際には地域・業種を超えた中での認識を高める必要があり、そうした事業販路拡大活動を行う町商工会が主体となって毎年春と秋に靴下の市&地域特産品交流フェアを実施している。	平成30年度で開催も45回目を迎えたが、地域特産品の販売イベントについて、地元の商工業者と調整をしていく必要がある。
地域振興課		

④ 雇用対策の推進

主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
町内雇用の促進	地元企業の求職状況やハローワークの求人倍率を検証し、企業説明会にかかわるパンフレット等を窓口を設置している。	町内で行う企業説明会の開催や、開催場所等も大学及び商業店舗、事業者とも協議を重ねていく。また、産業総合振興機構で人材バンクの機能を検討する。
地域振興課		

④ 雇用対策の推進

主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
勤労者福祉の充実	勤労者の雇用形態の現状を、中小企業振興基本条例検討会で実施したアンケート結果等も踏まえた上で、有効な施策を実施する。	企業の職場環境や、福利厚生の上昇のために、広陵町中小企業・小規模企業振興基本条例に基づく課題別小委員会において、地元企業及び商工会等と連携して意見を取り込み、研修制度を検討する。
地域振興課		
町内雇用者数の増加	企業の誘致を通じた雇用機会の増加はもちろん、雇用者が生まれるような施策を通じて、雇用者数の増加を図る。	中小企業振興基本条例に基づく、課題別小委員会の検討会などで人材の確保に関わる小委員会を検討を行う。
地域振興課		

⑤ 創業の支援

主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
地域資源を活かした産業創造	農業生産出荷組合による6次産業化や、町内の靴下生産事業者で生産から販売まで手がけている事業者がこれにあたる。	産業総合振興機構を通じて地域の資源を組み合わせた新商品の創出、ビジネスマッチングを行う。また、観光資源も活用できるよう平成30年度に近畿運輸局から受けた提案書をもとに、活用した施策を検討していく。
地域振興課		
しごと創生によるまちづくり	まちづくりの観点をベッドタウンという側面を活かして、雇用機会のある企業を町内に誘致し、仕事に就いて町に永住できるようなまちづくりを行う。	関連部署とも協議し、雇用機会が増加され、町内在住者の流出を防いでいくような施策を産業総合振興機構を通じた施策及び官公民一体となって進めていく。
地域振興課		
拡充・特定創業支援（創業塾、個別相談指導）	町商工会及び県よろず支援拠点が実施する創業塾の受講者をはじめとする創業希望者を、町商工会の個別相談窓口でフォローアップを行い、創業に必要な要素に応じて、町内金融機関をはじめ、各支援機関との連携による情報を共有しながら創業者を支援している。 【実績】平成30年度創業支援者数 28人	今後も引き続き、ホームページや広報等で周知を行うとともに、地方創生推進交付金を活用した創業支援に特化した施設等を整備し、創業支援のメニューを充実させていく。
地域振興課		

⑥ 企業誘致による地元雇用の確保

主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
企業誘致の検討	平成26年度に企業立地促進のための条例を制定し、企業の固定資産税減免や奨励金の交付などを行っている。立地セミナーに参加する等周知を図っている。 【実績】累計奨励金制度対象企業数6件	引き続き、県との連携をとって、立地を推進することで、町内の雇用者の安定確保に努める。 箸尾準工業地域の開発施策を具体的に進めていく。
企画政策課		
地域の魅力を引き出す土地利用	東真美ヶ丘地区、箸尾準工業地域の開発促進計画立案に向けて取り組んでいる。	今後、開発促進計画に基づき、地区内の道路、調整池、橋等のインフラ整備を実施し、地区内の地勢を促進する。
都市整備課		

(2) さらなる発展への基盤づくり

① 計画的な土地利用の推進

主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
土地利用関連計画の見直し・総合調整	関連部署の計画プランを擦り合わせ調整する。	地域の課題や目標を見直しをするため、都市計画マスタープランの改定を行う。
都市整備課		
適正な土地利用への誘導	秩序ある土地利用の実現を目指し、関連計画等との調整を図りつつ、土地利用の規制・誘導を推進し、土地利用区分に応じた土地利用への誘導を図っている。その一つとして、箸尾準工業地域の開発促進計画立案に向けて取り組んでいる。	今後、各計画に基づき、地区内の道路、調整池、橋等のインフラ整備を実施し、地区内の地勢を促進する。
都市整備課		

① 計画的な土地利用の推進

主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
馬見丘陵公園・竹取公園を核としたにぎわい拠点づくり	まちづくり基本構想の策定にむけ、県との協定を締結する必要があるため、県担当課との協議を行った。	平成31・令和2年度まちづくり基本計画の策定を進めていく。
都市整備課		

② 市街地の整備

主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
市街地整備体制の確立	良好な市街地整備を図るため、狭隘な道路、通学路等の整備や公園の植栽間伐等を実施し、防災性、安全性の向上を図った。	今後、計画に基づき、地区内の道路、調整池、橋等のインフラ整備を実施し、地区内の地勢を促進する。また、箸尾駅前環境整備については、準工業地域の企業誘致、都市計画道路箸尾駅前線の見直し等と合わせ検討していく。
都市整備課		
市街地の計画的整備	事業地区への地元説明会を実施し、現況測量を行い、各地区のインフラ配置位置を決定している。	今後も引き続き、各事業の地元関係者に協力を求め、事業実現を図っていく。
都市整備課		
箸尾駅前及び東真美ヶ丘地区の整備	「箸尾準工業地域整備事業」・「都市計画マスタープラン改定事業」と相互に整合を図りながら、より効果的な都市計画道路の整備について検討。	都市計画道路整備の促進。東真美ヶ丘地区内の道路、調整池等のインフラ整備を実施し、地区内の地勢を促進する。
都市整備課		

③ 住宅施策の推進

主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
空き家対策事業	空家等対策協議会を設立。本町の空家の現状・実態調査における空家の現況等を踏まえ、「広陵町空家等対策計画」を策定済である。	空家等をめぐる状況は常に変化していくので、計画策定以降においても、国土交通省の指針(ガイドライン)に基づき、町の実態に即した実行性のある対策を講じるため、条例の制定を検討する。
環境・安全安心課		
空き家を活用したシェアハウスの検討	町内で活用できる空き家の把握が難しく、事業構築が困難であった。	引き続き、空き家はもちろん、賃貸版シェアハウス等の導入を検討していく。
企画政策課		
新たな住宅地の形成	都市計画法第34条第11号の市街化調整区域への健全な住宅開発の促進。	住宅開発に伴う、治水対策の法整備を行う。
都市整備課		
既存住宅の耐震化の促進	昭和56年6月以前の住宅に対して、無料で耐震診断を提供している(広報等で周知)。	引き続き、耐震診断の受診を呼びかけると共に、診断結果が基準値を下回った建築物に対して、積極的に耐震改修を促していく。
都市整備課		
町営住宅の整備	長寿命化を図るため、老朽化した施設の修繕、管理を行っている。	補助金による事業のため、進捗は内示充当率に左右される。
都市整備課		

③ 住宅施策の推進

主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
貸農園の整備	町が町内の遊休地を有効利用してファミリー農園として設置(齊音寺1農園・赤部1農園・みささぎ台3農園)し、1世帯2区画まで利用可能。	平成31年3月をもって、一時的に利用期間が満了した。利用者が減少している現状を鑑み、区画数の見直しをした上で、農園を再開する。
地域振興課		

④ 道路・交通網の充実

主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
広陵元気号再編事業	より便利な広陵元気号の運行を目指すため、新たな運行計画を検討。平成30年度は、広陵元気号の運行に関してアンケート等の効果検証を実施した。その後、ワークショップを実施した結果、再編が必要となり、ルート案を作成した。令和元年度10月1日より新たなルート・ダイヤで運行する。	ダイヤを作成し、住民周知を行い、10月1日から新たな運行計画で運行をする。
企画政策課		
交通安全施設整備事業(再掲)	道路利用者が安全に通行するための設置する施設(道路標識、カーブミラー、ガードレール、道路照明等)について、各種団体や地域の意見を伺いながら警察へ要請したり、町での整備をした。	今後も各種団体、地域との協議をし交通安全施設整備を進めていく。
環境・安全安心課		
橋りょう長寿命化修繕事業	平成29年度に策定した長寿命化修繕計画に基づき、優先順位の高い橋梁の補修を実施した(里合橋、カツラギ3号橋)。	計画に基づき、計画的な橋梁の予防保全を継続して実施し、安全なインフラ施設を維持するとともに維持コストの低減に努める。
都市整備課		
町道新設改良工事	集落内道路環境の改善を目的とした道路拡幅工事や舗装工事等の改良工事を実施した。	在来地区に残存する狭あい部分の拡幅工事等により、道路利用者の満足度を向上させる事業を推進する。
都市整備課		
かつらぎの道の整備事業	路面等の修繕や、高木の伐採等環境を考えた維持修繕を行った。	路面の老朽化が進行しているため、大規模な補修が必要である。街路樹の適正な維持管理を継続的に実施することで見通しを確保し、安心して通行できる道路空間を形成する。
都市整備課		
自転車道の整備事業	町道笠ハリサキ線の一部区間において区画線の再整備を実施し、自転車が通行しやすいような空間づくりでカラー舗装に着手した。	町内の自転車利用者が車道を安心して走行することができるような通行空間整備を継続して実施する。交通量の多い路線は歩道等の改良を視野に入れた設計を行う必要がある。
都市整備課		

⑤ 情報化の推進

主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
7市町共同化利用事業	7市町で情報システムの共同利用を行い、1市町あたりのコストを削減するという方針のもとに、システム案件を共同化している。	各市町で個別に利用している業務システムについて見直し、共同化を検討していく。さらに次期システム更新について検討していく。
総務課		
マイナンバー制度対応に伴う住民情報システム改修事業	マイナンバー制度対応に伴う住民情報システムの改修を行う。平成30年7月データ標準レイアウト改版に伴うシステム改修および副本登録を実施した。	マイナンバー制度に伴う情報連携追加・廃止事務手続、副本登録について、必要に応じて対応していく。
総務課		

⑤ 情報化の推進

主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
ホームページリニューアル更新事業	平成28年5月にホームページのリニューアルを行った。また、広陵町に住む移住・定住促進サイトなど住民の利便性を図る目的のページを新設した。 【実績】平成30年度トップページアクセス数456,910件	依然としてアクセシビリティに課題があるため、今後も継続して住民が見やすくアクセスしやすいホームページを目指していく。
秘書人事課		
公共施設Wi-Fi環境整備事業	役場本庁、さわやかホール、図書館、はしお元気村において誰でも利用出来る無線LAN環境を構築し、来庁者や災害時に避難者や支援協力者がパソコン・タブレット等で情報を受発信できる環境を整備した。	今後、必要に応じて公衆無線LAN環境整備補助金等の動向を踏まえて整備箇所の検討を行っていく。
総務課		
オープン(ビッグ)データ活用事業	地方創生に係る施策の立案・実行・検証について効果的な検証を行うため、経済産業省、内閣官房が提供している、「地域経済分析システム(RESAS:リーサス)」を活用している。ビッグデータをもとに、産業構造、人口動態の把握を図っている。	地域の特性を分析することで、今後も地方創生等に関わる多様な場面で活用していく。更に、積極的なデータ開示を図ることで、町民に対して情報の可視化を図る。
企画政策課		

＜基本目標4＞ 地域と地域を連携するまちづくり

本町は、都心で失われつつある地域コミュニティの支え合いの精神が息づいており、まちの強みである、コミュニティを基本とする協働のまちづくりを今後も進めていくことが重要です。

また、時代の変化に対応した効率的で効果的なまちの機能強化をめざしつつ、周辺自治体と連携した、広域連携のまちづくりを進める必要があります。

数値目標：

広陵町に愛着を感じているひとの割合：現状値 73.5%(H27) 目標値 76%

基本的方向：

- 町民と行政の協働による「地域づくり」と近隣市町村間連携による「暮らしの機能」の向上

基本目標の達成に向けた今後の方向性

【重要業績評価指標（KPI）の進捗状況】

達成率

A：100%以上 B：75%程度

C：50%程度 D：25%程度 E：0%

(1) みんなの力で進めるまちづくり

① コミュニティの育成

KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
コミュニティカルテ作成自治会数(件)	目標値		15/累計			
	実績値	-	0	-	-	
	達成率	-	E	-	-	
	達成状況の分析	コミュニティカルテを町主導で作成したため、本KPIは判定不可となった。				
	今後の取組	小学校区ごとに作成したコミュニティカルテを活用した地域づくりについて検討を進めていく。				
企画政策課						

② 協働のまちづくりの推進

KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
住民懇談会を開催した自治会数(件)	目標値		41/累計			
	実績値	19	39/累計	41/累計	41/累計	
	達成率	-	B	A	A	
	達成状況の分析	全ての地域において開催することができた。				
	今後の取組	今後も引き続き要望があれば、住民懇談会を開催するとともに、ワークショップ形式による、「地域まちづくり懇談会」により、地域ごとの振興協議や地域力の活用について議論を進めていく。				
企画政策課						
KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
住民参画・協働の状況に関する町民の満足度(%)	目標値		町民の満足度については、最終年度にアンケート調査を実施するので、年度ごとの評価は実施しない。			30.0
	実績値	22.7				
	達成率	-				
企画政策課						

③ 広域連携によるまちづくりの推進

KPI設定項目(単位)	項目	策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
広域連携による事業件数(件)	目標値		10/累計			
	実績値	-	7	7	9	
	達成率	-	B	B	B	
	達成状況の分析	地方創生の観点から自治体間における連携が進んでいるため、多くの連携事業を実施することができた。				
	今後の取組	今後も住民サービスの向上のため、相互連携協定を結んでいる香芝市との連携を中心に、近隣自治体との連携事業を積極的に展開していく。				
企画政策課						

【主要な具体的事業の成果】

(1) みんなの力で進めるまちづくり

① コミュニティの育成

主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
コミュニティカルテの作成 企画政策課	コミュニティカルテは、地域の現状や、地域で抱える様々な課題を体系的に分けて把握し、協働のまちづくり推進のための基礎資料とするために、地域担当職員による聞き取りを実施し、小学校区別に作成した。	小学校区ごとに作成したコミュニティカルテを活用した地域づくりについて検討を進めていく。
小規模多機能自治組織の検討 企画政策課	小規模多機能自治組織は、区・自治会だけでなく地域内の様々な団体が一体となって、自主的・自律的・包括的に地域課題を解決していこうとする新たな地域自治の流れで、本町でもそういった自治組織を設立するための仕組みづくりを検討している。	今後、地域の声を聞き、ニーズに合わせた仕組みづくりや支援を行うべく、検討を進めていく。

① コミュニティの育成

主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
地域づくり活動支援制度の創設	地域の住民主体で、協働のまちづくりを推進するための活動をしている、NPO法人やまちづくり団体等に対して、「広陵町協働のまちづくり提案事業補助金」として支援を行うための制度を創設した。	創設した補助金制度を広く住民、NPO法人等に周知し、適切に活用してもらうよう働きかける。
企画政策課		

② 協働のまちづくりの推進

主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
自治基本条例の制定	条例の制定に向け審議会等を立ち上げ、本格始動している。 自治基本条例…将来に向かって持続可能な町であり続けるため、「まちづくり」を進めて行く上での基本ルール	審議会を開催し、条例案の検討をしてもらうとともに、住民ワークショップを開催し、将来のまちづくりについての意見を聞く。
企画政策課		
広報・広聴活動の充実	・広報紙や町ホームページ等で行政情報を分かりやすく丁寧に伝えるとともに、住民が知りたい情報を発信している。また、地域で活動している住民を紙面で紹介することで、町の活力向上につなげる特集を組んでいる。 【実績】平成30年度町広報紙平均ページ数25.6ページ ・広聴活動では、住民の意見を担当課へ報告し、担当課より住民に回答してもらっている。	・外部媒体、フェイスブック等のSNSの活用等あらゆるメディアを通じて情報発信を行い、町の魅力を発信に努めていく。 ・広聴活動では、担当課に住民の意見を伝達し、より迅速かつ適切に対応してもらう。
秘書人事課		
情報公開の推進	情報公開請求者に対する手続等の適正な案内及び情報公開制度を担保するために必要な文書管理についても適正な管理を行っている。 【平成30年度実績】請求件数9件(全部公開3、部分公開4、却下1、不存在1)	不開示情報の規定の仕方及び解釈運用については、情報公開請求者の視点に立ち、必要最小限に止めるとともに広範囲にわたらないよう取り組んでいく。
総務課		
町の政策形成への参画・共同の促進	町の各種計画書等を策定する際に、ワークショップの開催や参画を求めるとともに、広くパブリックコメントで町民から意見を求めるなど、協働による政策形成を行っている。	今後も納得のいく合意形成ができるよう、町民の参画・共同(協働)を促進し、政策形成を行っていく。
企画政策課		
町民との協働による公共施設の管理	公園や公民館、集会所などの公共施設について、民間提案・手法も視野に入れつつ、町民と協働で管理していく方法を検討している。	今後、協働による公共施設の管理を検討していき、具体的な施策を模索していく。
企画政策課		
地域担当職員の配置	地域担当職員は地域の自治活動を支援し、行政との協働を推進することにより、地域コミュニティの活性化及び町職員の育成を図ることを目的に平成25年度に配置した。当初に比べ、地域担当職員の活動は多様化し、活発となっている。	今後、コミュニティカルテを活用し、小規模多機能自治組織の設立を目指す地域について、地域担当職員を通して支援していく。
企画政策課		
住民懇談会の開催	町長が地域に出向き、町の基本姿勢や財政の状況を説明し、地域住民と直接語り合う機会を持つことで、町政への理解を深めてもらうとともに、地域住民の幅広い意見を町政に反映することを目的に実施した。 【実績】累計開催自治会数 41件	全地域での開催を達成したため、今後は、小学校区ごとで立ち上げ予定の「地域まちづくり懇談会」等、さまざまな形で地域ごとの課題解決や地域力の活用について対話を進めていく。
企画政策課		

③ 広域連携によるまちづくりの推進

主な取組・担当課	内容・実績	今後の課題・対応
<p>連携事業の推進</p>	<p>効率的な自治体運営の推進と町民サービスの向上に向け、連携協定や協議会、事務組合の設立などにより、新たな行政ニーズに対応した効果的な連携事業を推進している。</p> <p>【実績】累計広域連携数 9件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良県と広陵町とのまちづくりに関する包括協定 ・香芝市マミつどの広場相互利用 ・広陵町・香芝市共同中学校給食センター事業 ・葛城地域観光シネマプロジェクト(中和地域5市町) ・すむ・奈良・ほっかつ！移住プロジェクト(北葛城郡4町) ・山辺・県北西部広域環境衛生組合(山辺・北西部10市町村) ・中和幹線沿道の屋外広告景観向上に関する協定(県と沿道5市町) ・中小企業・小規模事業振興事業(近畿経済産業局、奈良県など) ・公共施設広域連携検討会(県中西和6市町) 	<p>今後も住民サービスの向上のため、相互連携協定を結んでいる香芝市、包括協定を結んでいる奈良県との連携を中心に、近隣自治体との連携事業を積極的に展開していく。</p> <p>また県が推奨している自治体連携推進事業の「奈良モデル」についても積極的に関わっていく。</p>
<p>企画政策課</p>		